

2023年4月1日
第562号
(毎月1日発行)

咲いたネット
URL：
http://www.saitanet.or.jp
Eメール：
saita@saitanet.or.jp



発行所
埼玉県労働組合連合会
〒330-0063
埼玉県さいたま市浦和区高砂
3-10-11 第一木村ビル
TEL 048-838-0771
FAX 048-838-0775
編集発行人
埼玉県労働組合連合会
【定価】1部50円
(組合員の購読料は組合費に含む)

JMITU・医労連の職場でストライキ!
3・9全国統一行動で奮闘

23春闘最大のヤマ場となつた3月9日(木)は、前日8日の回答を受けて、埼玉医労連では全日赤さいたまが朝8時30分からストライキ集会、31年ぶりに指名ストに決起した全医労・東埼玉病院と西埼玉中央病院では、当該労働者が正門前でスト集会を行い、JMITUでは4支部が時限ストに決起して、リリースストライキ行動を展開しました。

このほか、三郷市にある勤



全日赤さいたま

医会みさと協立病院分会や健和会でも指名ストに立ち上がりました。

ストライキに立ち上がった職場では、地域組織から支援にかけつけました。

医労連の職場には、さいたま地区労が全日赤さいたま、蓮田地域労連が全医労・東埼玉病院、所沢地区労が全医労・西埼玉中央病院に駆け付け、JMITUの職場には、草加八潮地区労が東鋼業支



大東工業大宮分会

部、蓮田地域労連が東京セキスイハイム支部、さいたま地区労が大東工業大宮分会に駆け付けて、職場で奮闘する仲間を激励しました。



全医労・東埼玉病院



東京セキスイハイム支部

紙面から

- 3.9全国統一行動 (1面)
- 埼玉ビッグアクション (4面)
- 埼玉県要請 (2面)
- 3.9全国統一行動 (5面)
- 3.2春闘中央行動 (3面)
- 埼労共のページ (8面)

県に5項目の要請書を提出

埼労連は2月22日(水)午前10時から、埼玉県と春闘要求で懇談をしました。埼労連から新島議長、占部副議長、小澤副議長、加藤幹事が参加。窓口の雇用労働課で意見交換をしました。

要請内容は、①県内の保健所を増やし、医師・看護師を増やすこと。②国に医療機関への支援を要請すること。女性・非正規雇用労働者にコロナでの影響が強く出ていることから、労働相談窓口のいっそうの充実をはかること。埼玉県として労働者支援策を実施すること。③正規職員・非正規職員及び委託化・外部化された職場の労働



雇用労働課と意見交換

者について、雇用の安定と人間的に生活できる賃金・労働条件を保障するよう、模範的な雇用主としての役割を果たすこと、③外部委託に頼らず、県が責任をもって県民サービスを行うこと。なかでも県民の命と暮らしに関わる分野については、外部委託を行わないこと。また「安ければよい」という入札のあり方を改めることや、独自の産業政策をもつなど地元中小企業支援を強めること、④公契約条例制定に向けた庁内での検討組織を設置し、埼労連とも話し合いの場をつくること、⑤県民の暮らしを支える職員を適切に増員すること、の5点です。

意見交換では、「あくまで個人としての意見ですが、公契約の在り方について、庁内で検討がされているが、どうしても公共工事や委託先の事業所で働く労働者に適切に賃金が支払われるかについては考えていく必要があると思っています」との意見が出されるなど、短時間でしたが内容のある懇談となりました。

さいたま地域総行動

さいたま地区労では、区ごとに実行委員会をつくって「埼玉ビッグアクション・地域総行動」に取り組んでいます。

2月22日の夕方には、大宮駅西口でさいたま地域総行動(大宮区)が開催されました。大宮駅西口デッキに35人が参加し、7団体からの春闘アピールの訴えや、全労連「変えるピラ」の配布を行いました。駅利用者などにアピールしま

した。

また22日、昼休みには埼玉県庁前から浦和駅西口まで「昼休みデモ」が行われ、さいたま地区労からも事務局中心に参加し、全体で70人が参加、周辺の市民に大幅賃上げなどの諸要求を訴えました。

他の区でも、それぞれ曜日や時間帯などを工夫した総行動がとりまかれています。

埼玉県労連・写真ニュース

さいたま地域総行動(大宮区) 23団体で大編隊上げ

2月22日夕方、大宮駅西口でさいたま地域総行動(大宮区)が開催されました。西口デッキに35名が参加し、7団体からの春闘アピールや全労連「変えるピラ」の配布を行いました。また、昼休みには埼玉県庁前から浦和駅西口まで「昼休みデモ」が行われ70名が参加し、市民にアピールしました。

第94回埼玉県中央メーデー

2023年5月1日の『第94回埼玉県中央メーデー』を、北浦和公園で開催します。

式典と文化行事の2部構成として、デコレーションコンテスト・抽選会も行う予定です。

青年・次世代層の仲間の参加を意識し、大勢でお越しください。埼玉県中央メーデー成功への協力をお願いします。

日時 5月1日(月)

会場 北浦和公園

開会 10時(予定)

終了後パレード



北浦和公園でのメーデー (90回)



日比谷野音の中央集会

政府与党が進める、敵基地攻撃能力の保有や5年間で43兆円に上る大軍拡にも触れ「専守防衛でさえなく、日本を米国と共に戦争する国にし、日本を直接戦場にする危険があることを、政府は十分認識していることが国会答弁で明らかになった。闘いはこれからが正念場だ」と語りました。

行動提起をした黒澤幸一事務局長は、原材料の高騰や、診療報酬

大幅賃上げ・全国一律最賃などをかかげ3・2中央行動に1800人

全労連・国民春闘共闘委員会は3月2日、春闘勝利に向けた中央行動を都内で終日展開し、日比谷野外音楽堂で行われた中央集会には組合員1800人が参加。物価高から生活を守る大幅賃上げをはじめ、全国一律最低賃金の実現、大軍拡・増税の阻止、社会保障の拡充を訴えました。

あいさつした小畑雅子代表幹事（全労連議長）は、主要企業の内部留保のわずか1・67%を使えば1人3万円以上の賃上げが可能との労働総研の試算を紹介し「私たち労働者が要求に固く団結して賃



国会請願デモ

金を上げるとストライキを構えて毅然(きぜん)とたたかうことで全ての労働者の底上げを勝ち取れる」と激励しました。

など低い公定価格の問題があるため賃上げが難しいとの見方について「販売価格に転嫁できないのは企業の責任。私たちがストライキを構えて対等に交渉し、しっかりと賃上げさせて、その後に価格転嫁や、診療報酬と介護報酬の引き上げを求めていくことが重要だ」と強調しました。



国会議員に最賃署名を提出

集会終了後、国会請願デモを行い、国会に対して「物価高騰に負けない大幅賃上げ」の声を届け、続けて「全国一律最賃」署名の提出と国会議員要請を行いました。

埼玉からは、各産別のとりくみに参加した仲間の他、埼玉土建と草加八潮地区労の仲間が駆け付けました。

昼休みに職場決起集会

国労大宮工場支部

埼玉春闘共闘に結集して奮闘している国労大宮工場支部は3月8日(水)昼12時35分から50分まで、JR東日本大宮総合車両センター集会室で2023年春闘総決起集会を開催し、各職場の代表など20人が参加し、埼玉連・埼玉春闘共闘から新島議長、さいたま地区労から前島議長が激励にかけつけました。

地区労議長は「全国一般の大宮電化支部が、結成以降ストライキも構えて1万円の賃上げを勝ち取ってきている。23春闘でも奮闘中。仲間を増やしてともに奮闘しよう」と激励しました。

集会では、泉田委員長が「国労の要求は定昇完全実施とベア1万3000円だ。昨日の当局と国労本部の交渉では、経営者側がコロナを理由に賃上げをしるる姿勢に終始したが、異常な物価高騰のなかでもJR東日本は3兆円、JR貨物も1000億円の内部留保をため込んでいる。働く者に還元すべきだ。最後まで闘い抜こう」とあいさつしました。

職場からの決意表明は青年部の松本さんが行い、最後に参加者全員で「団結頑張ろう」を唱和しました。

国労では、翌週にJR東日本から要求に対する回答が出されていきます。

続いて新島議長が「全国的に物価高騰のなかで今春闘の役割は大きい。国労大宮工場支部と連帯して埼玉春闘共闘・埼玉連も頑張る」とあいさつし、前島さいたま



団結ガンバロウで決起

埼玉ビッグアクションのとりくみ

北足立南部地区労

朝霞4市地域ビッグアクション総行動市民集会在、北足立南部地区労事務所をメイン会場に、サバ会場に土建新座支部事務所、土建朝志和支部事務所、新座市職員組合事務所、和光中央公民館、日本共産党新座市委員会と個人のZom参加で行われ、23団体131人が参加しました。

主催者を代表して松本貢一実行委員長(地区労議長)があいさ



川添さんの講演

つ。賃金が上がらず年金が下げられ続けた四半世紀を打破するビッグアクションにしようと呼びかけました。

続いて地区労労働相談員で高校教師の川添英雄先生を講師に学習会「敵基地攻撃能力論と日本国憲法」を行いました。川添先生は、①安保3文書とは、②有識者会議とは、そのメンバーの特徴、③「敵基地攻撃論」の背景、④敵基地攻撃能力の具体例、⑤敵基地攻撃は本当に可能か、⑥敵基地攻撃能力と憲法、国際法の関係、⑦「新しい戦前」にさせないために、の内容でわかりやすく講演してもらいました。

地域報告では、朝霞地域から「国民の団結で軍事強化ストップ！物価の上昇に見合う年金を！」、志木地域から「志木市の小中一貫教育の導入について」、和光地域から「理研3月末の約400人の雇い止め阻止についての闘い」、新座地域から「新座地域からの決意表明と各団体の要求」が

報告されました。その後、上蘭事務局長が行動提起を行い、「5月の地域メーデーに向けて春闘に奮闘し、6月4日のオール埼玉総行動1万人集会は北浦和公園へ結集していこう」と訴えました。

鴻北労連

2月22日(水)、「すべての労働者・国民の賃上げを！大軍拡・大増税より生活予算に！地域経済の活性化を！」などを掲げて、22鴻巣地域総行動(ビッグアクション)が行われました。早朝は、鴻巣市役所前で「物価に見合う賃上げを」「会計年度任用職員の雇い止めは止めさせよう」などの声かけをして全労連のチラシ配りを行いました。

夕方は、鴻巣駅前で6団体22人が参加してリレートーク集会在行われました。

参加団体代表のリレートークでは、「中小業者にも設計労務単価の敵守を実現させよう」、「軍事費より高齢者への年金を引き上げよ」、「復興特別税の軍事予算への流用は許せない」などの発言がありました。



鴻巣駅前集会

北本では、16日(木)に北本駅東・西口で北本地域総行動宣伝行動を行い、「最賃を1500円に引き上げろ」などを訴えました。

AOI労連

AOI労連の上尾・伊奈地域は、2月22日(水)午後6時30分から上尾駅東口で、上尾伊奈地域23春闘として「埼玉ビッグアクション」に取り組みま、当日は11団体62人が参加しました。

最初にリレートークを行い、柴田実行委員長(AOI労連議長)、日本共産党の秋山県議と上尾市議団のみなさん、郵政産業労働者ユニオン埼玉支部、新婦人、憲法共同センターの代表者が、現

在の職場の状況や仲間の現状などを報告し、雇用条件・職場環境改善に労働組合の果たす役割が大きいことを報告し、「こんな時だからこそ、労働組合の真価を発揮しよう」と訴えました。

午後7時からは宣伝行動を参加者全員で行い、労働相談フリーダイヤルが印字されたミニチラシの入ったティッシュと全労連「変える」ビラ第3弾をセットで配布したり、「物価高騰に負けない大幅賃上げを」、「大軍拡・大増税は許さない」、「最低賃金は時給1500円に」、「全国一律最賃制を確立しよう」などのプラカードで市民にアピールしました。



上尾駅東口

3年ぶりに集まって行動実施

蓮田地域労連

蓮田地域総行動実行委員会は2月22日(水)午後6時から、蓮田駅東口で埼玉ビックアクション・地域総行動を行いました。コロナの影響で3年ぶりとなる集まっての行動を成功させるため、1月から2回の実行委員会を開催して準備しました。

開会のあいさつにたった村山議長は「大企業では前年比4割増の会社もあるが、周辺の小売業、飲食業、生活関連業、医療業界など

では、利益が上がっていない。利益が上がるような仕組みに改善されなければ、労働者の賃金引き上げはない。みんなで団結して政府に訴えよう」と発言しました。要求プラカードを持ってスタンディングする人、「労働組合をつくって未来を変えよう」とチラシ入りディスプレイを配る人など、11団体から43人が参加



蓮田駅に43人が結集

し、埼玉土建労月蓮田支部、蓮田市教組、埼玉高教、JMITU東京セキスイハイム支部、年金者組合、全医労東埼玉病院支部、9条の会、医療生協、新婦人、日本共産党の代表が決意表明をしました。

続いて、年金者組合の土井さんが集会アピールを提案し、みんなの拍手で確認されました。最後に藤原副議長が、「一緒に行動する仲間を増やし、声をあげ、奮闘を勝ち抜くためにともに頑張ろう」と訴えて閉会しました。

昼休みデモと大宮駅宣伝 春闘共闘3・9統一行動

埼玉春闘共闘・埼労連が提起している地域総行動「埼玉ビックアクション」が2月22日(水)を中心に各地で展開されています。

22日(水)昼は、埼玉春闘共闘・埼労連が呼びかけた昼デモが県庁前から浦和駅西口まで行われ、近隣の労働組合、諸団体から70人が参加しました。

六戸事務局長の進行、新島議長の主催者あいさつで「23春闘では物価高騰に負けない大幅賃上げを求め、国民・労働者の生活を壊す



県庁前からデモ

大軍拡・大増税にNO!の声を突き付けよう」とアピールし、デモ行進に入りました。

マスクの着用などコロナ感染防止をしながら、宣伝カーのコールを受けて、参加者も元気よく「物価高騰に負けない大幅賃上げを勝ち取ろう」、「全国一律最賃制をつくらう」、「最賃時給は1500円にしよう」、「消費税は5%に減税を」、「インボイス導入反対」、「医療・検査体制の充実を」、「社会保障を拡充しろ」、「大軍拡と大増税反対」、「憲法改悪反対」などシュプレヒコールをしました。

大宮駅宣伝

埼玉春闘共闘・埼労連は、全国統一行動に呼応して、9日(木)の夕方、23春闘宣伝を大宮駅西口デッキで実施し、15労組53人(国労大宮工場支部5、さいたま地区労2、JMITU7、埼教組3、埼玉高教2、自治労連1、医労連1、コープネットグループ労組



大宮駅宣伝

埼玉春闘共闘・埼労連は、全国統一行動に呼応して、9日(木)の夕方、23春闘宣伝を大宮駅西口デッキで実施し、15労組53人(国労大宮工場支部5、さいたま地区労2、JMITU7、埼教組3、埼玉高教2、自治労連1、医労連1、コープネットグループ労組

日中の統一行動に参加した民間単産の仲間や、独自チラシを準備した公務共闘の仲間がマイクを握り、「物価高騰の厳しい状況の中で実質賃金は減り続けている、何としても賃上げを勝ち取ろう」と交代で訴え、通行する人たちに全労連「変える」ピラやディスプレイを配りました。

冬のコンパニー開催(埼教組)

埼教組は2月23日(木・祝)に恒例となっている「冬のコンパニー」を開催しました。

埼教組は年一回、そのときどきの課題に応じた大学習会を行っています。「仲間との交流」という意味の「コンパニー」と銘打ち、今回は「ICT教育」「教育DX」について学ぶため、法政大学の児美川さんを招聘しました。

経産省主導で始まったGIGAスクール構想ですが、その背景には学校教育の充実とは違つバクトル「学校教育を新たな市場としてと

らえている」ことについて、児美川さんから多くの資料をもとに講演してもらいました。

当日に向けて積極的に新規組合員の参加を呼びかけたところ、4人が駆けつけてくれました。講演終了後、新規組合員の紹介やインタビューを行いました。司会は20代の青年教職員で、軽やかに進行してくれました。

「どうして組合に入る決意をしたのか」の問いに、新規組合員の仲間は、「これまでも職場の改善に力を注いできたが、個人の力の



児美川さんの講演

限界を感じた。組合としてできることに魅力を感じ、決意した」と答えてくれ、集まった組合員に、展望を与えてくれました。

(埼教組発)

ケア労働者への支援を県に要請

埼玉医労連と埼労連は3月8日

を渡しました。

(水)午後2時から、埼玉県に「医療・介護・保育・福祉などの職場で働くすべての労働者の大幅賃上げを求める要請」を行い、埼玉医労連から藤田書記長、埼労連から新島議長と加藤幹事が参加、日本共産党埼玉県議団の守屋県議も同席しました。埼玉県側は保健医療部と福祉部が対応し、要請書

医労連・藤田書記長が、国に対して実効性のある助成制度を求めること、県独自施策としてすべてのケア労働者に月額4万円以上、時給250円以上の持続的賃金底上げに資することを目的とした「給付金制度の新設等」の財政措置をただちに講じるように求め、県側と懇談をしました。



保健医療部と福祉部に要請

第2次行動は経営者要請とスト

JMITU埼玉地本

JMITU埼玉地本は、3月16日(木)、23春闘第2次統一行動に決起しました。この行動は9日の第1次ストライキ支援に続いて配置されたもので、ストライキや経営者要請を行い、さらなる回答上積みを求めました。

今回の回答は、少なくとも職場支部・分会で昨年以上の回答が出ていました。しかし埼玉地本では、要求額とは乖離があること、各職場は昨年、一昨年と比べて大儲けしているわけではないにも関わらず昨年以上の回答をしているというところは「会社が儲かっているから賃上げをする、儲かっているから賃上げできない」ということではないと、16日の支援行動で訴えてきました。



日信工業はストライキ

当日は、芝浦電子支部の経営者要請(さいたま地区労・前島議長)、日信工業支部の時限ストライキ(埼労連・新島議長)、東京セキスイハイム支部の経営者要請(埼労連・新島議長)、東鋼業支部の経営者要請(草加八潮地区労・数見事務局長)が行われ、物価高騰に負けない賃上げをあらためて求めました。



東京セキスイハイム支部

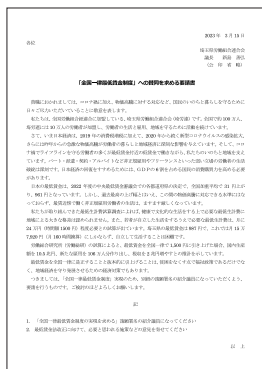
全国一律最賃制への賛同を求め 埼玉選出国会議員に要請

県民大運動実行委員会主催の国会行動埼玉デーが3月15日(水)に行われ、埼玉連は最賃・公契約適正化委員会を構成する労組を中心に、全国一律最賃制度への賛同を求め、まだ紹介議員になっていない埼玉県選出の衆国会議員に要請しました。要請内容は、全労連の「全国一律最賃制確立を求める署名」の紹介議員になってほしいというもので、対象となる28人を訪問しました。



新島議長あいさつ

議員会から、小澤副議長(埼玉県)、占部副議長、橋本幹事(コープネットグループ労組)、加藤幹事(埼玉連)、林委員(全労連・全国一般委員長)と、埼玉デーに参加した埼玉土建から5人が参加してくれ、5班に分かれて訪問しました。



要請では、「会がOKなら紹介議員になることは大丈夫です」と応じた日本維新の会の議員秘書など、要請内容を丁寧聞いてくれた議員(秘書)もいて、「継続していけば変化はつくられる」と実感する取り組みとなりました。

会期中ということもあり、不在で資料を渡せなかった議員もいるため、6月まで行われる国会の会期中にもつ一度実施することも検討していきます。

着任直前交流会開催(埼玉高教)

埼玉高教は、3月21日(火・祝)に「着任直前交流会」を実施し、18人が参加、そのうち6人は非組合員でした。

中には2月4日県教委主催の「教職員生活スタートサポート」の会場前で配布したチラシを見て来た人もいました。

埼玉高教では、新たに教員になる人、新たな職場に異動する人の不安を少しでも和らげて、4月からいきいきと働けるようにという趣旨で2018年から交流会に取り組んでいます。



副知事に署名提出

埼玉連も参加している「安全な地元農産物の活用と学校給食の無償化をめざす埼玉連絡会」は3月14日(火)に、この間集めた要請署名を埼玉県に提出しました。

当日は、高柳副知事が対応してくれ、10分程度ですが意見交換をしました。代表の高田さん(新婦人埼玉本部会長)は、「給食は教育の一環、物価高騰で苦しむ子

育て世代のためにも、給食費の無償化をすすめてほしい」と要請しました。

懇談後には記者会見も行い、北村事務局長(埼玉教組委員長)が、連絡会立ち上げの経緯やこの間の取り組みを紹介し、「大きな反響がある課題だと改めて認識させられた」として、メディアでも取り上げてほしいと訴えました。改憲に参加した埼玉新聞は翌日の朝刊で報道しています。

給食の無償化を県に要請

今年は前半が1年目、2年目の先生からの体験談。後半は参加者が高校と特別支援学校にわかれてグループトークを行いました。

青年組合員とベテランの組合員が一緒に行ったグループトークの中で、部活、授業、仕事のとりくみや疑問などから、通勤時の服装、自己紹介など学校では聞きにくいことまで活発な交流が行われました。

4月に向けて着任校の組合員と連絡を取り、今回参加してくれた人が着任した後もフォローできる

体制を整えて、組合の組織強化・拡大につなげられるように引き続きとりくんでいきます。

(埼玉高教発)



教育会館の様子

松竹喜劇

松竹喜劇が好評につき第2弾「熱海五郎一座」を割引価格で幹旋します！

高齢者ばかりの演劇集団が幕末の京都を舞台に坂本龍馬と新選組が大暴れ？を爆笑東京喜劇に。

出演は、三宅裕司座長（構成・演出）をはじめ、渡辺正行、ラサール石井、春風亭昇太らに加え、檀れい、玉井詩織という豪華な顔ぶれです。

1等席11500円のところ9800円で取り扱います。（割引幹旋は1等席のみ）

新橋演舞場

6月14日（水）13時30分
6月24日（土）11時30分
各10席確保しています。

なお、10席を超える場合や他の日程をご希望の場合、空きがある



場合に限り取り扱います。

お申込み・お問い合わせは、4月28日（金）まで。

埼労共（埼労連・山崎）
048・838・0771

4月の上映案内

4月の上映は「月光の夏」です。

太平洋戦争末期、死ぬ前に思い切りピアノが弾きたいとグラウンド

ピアノがある学校を訪れた

特攻隊員。一台のピアノと

「月光」のメロディが語り

かけてくる戦争犠牲者への

鎮魂と平和への

願い。当時の女教師が語



り伝え、多くに人々の熱い思いを結集した映画で、「時の行路」の神山征二郎監督が手掛けた作品です。

日時 4月25日（火）

① 10時30分～12時30分

② 14時～16時

③ 18時30分～20時30分

場所 埼玉会館 小ホール

埼玉共専用入場整理券利用で、900円でご覧いただけます。

【今後の上映予定】

5月26日（金）

島守の塔

6月27日（火）

ブータン山の教室

お問い合わせは、埼玉映文協

048・822・7428

トルコ・シリア地震 埼玉ユニセフへ 支援金

2月6日に発生したトルコ・シリア地震の被災者支援として、現在、各組織に支援募金の要請をしています（5月26日まで）。

埼玉共は、災害救援基金を活用し支援募金の一次分を3月16日に埼玉県ユニセフ協会に届けてきました。（同時に全労連にも同額を振り込みました）。

フードバンク

第83便

埼玉連の3月のフードバンク活動は、3月6日（月）に第83便をフードバンク埼玉に届け、今回の総量は24・8キログラムとなりました。

2月以降、埼玉土建が本庄支部、さいたま北支部から寄せられた缶詰、備蓄水、缶入り備蓄パン、乾燥米飯などを提供、合計で20・5キログラムとなりました。また、SUや埼玉連事務局から



フードバンク第83便

寄せられた清涼飲料水、海苔、調味料などが4・75キログラムとなりました。



トルコ・シリア募金